

| | |
|---------------|---|
| 氏名 | 松 田 誠 一 |
| 学 位 の 種 類 | 医 学 博 士 |
| 学 位 授 与 番 号 | 甲 第 522 号 |
| 学 位 授 与 の 日 付 | 昭和57年 3 月31日 |
| 学 位 授 与 の 要 件 | 医学研究科社会医学系公衆衛生学専攻 (学位規則第5条第1項該当) |
| 学 位 論 文 題 目 | 無カタラーゼ血症に関する研究 第一編 過ホウ素酸ナトリウムを用いた低カタラーゼ血症の新しいスクリーニング法について、とくに自動酵素反応装置の製作について 第二編 正常および無カタラーゼ血症マウスの赤血球からのカリウムイオン遊出について |
| 論 文 審 査 委 員 | 教授 産賀敏彦 教授 小倉義郎 教授 青山英康 |

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

無カタラーゼ血症は、1947年、高原らによって発見された体質異常者の一つである。本症は常染色体不完全優性内至劣性遺伝の形式をとり、ホモ接合体が無カタラーゼ血症、ヘテロ接合体が低カタラーゼ血症とされる。従って低カタラーゼ血症の発見は、人類における本症の gene flow を知り、本症の発生を未然に防ぐと云う意味で人類遺伝学上また公衆衛生学上の見地からして重要である。第一編では、そのスクリーニング法の改良についての研究と共に試作機である自動酵素反応装置による測定 of 簡便化について検討した。また、第二編では、無カタラーゼ血症と正常赤血球の性質の差異を知る目的で、正常及び無カタラーゼ血症マウスの赤血球を用いて過酸化水素によるカリウムイオン遊出現象について検討を加えた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は無カタラーゼ血症に関する研究であるが、新しい半自動酵素反応装置を試作してスクリーニング法の簡便化を可能にした。又、過酸化水素による赤血球からのカリウムイオンの遊出現象について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。